

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会
第21期 109号

発行者 榎津直江
編集者 小林涼子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

二人または三人がわたしの名によって集まるところには、
わたしもその中にいるのである。 マタイによる福音書 18章 20節

共にいる喜び、

つながっている喜び



牧師
池谷考史

博多教会
福岡西教会

第21期女性会
担当牧師

第21期みちしるべの題字は長崎教会の池田照さんによるものです。感謝いたします。

21期の教区女性会活動が「共にいる喜び」という主題のもとにスタートしました。
いまだコロナ禍が続く中で、誰かと「共にいる喜び」をなかなか感じる事ができないもどかしさを感じている方も多いかもしれせん。かく言う私もその一人です。
しかし、私自身この1年余りを振り返ってみると、コロナ禍の苦しさを知る者同士の温かい交わりがあつたことも事実で、それは私の中で確かに、「喜び」となりました。例えば、毎週、教会から週報などを送付・送信する中で、その返信としていろいろな方から「お元気ですか。ご自愛ください。祈っています」との手紙やメールが届いたり、近況報告の電話の声

などは、平時にも増して安心し、嬉しく、力になるものでした。
そう言う一つ一つの事を丁寧に思い出してみると、(逆説的ですが)共にいらなくても「共にいる喜び」を感じることも少なくありませんでした。
きっと、こうした互いを思いやり励ますやり取りは私個人だけでなく、あちこちでなされ、多くの方が、誰かが「共にいる」ことを実感されただろうと想像します。それは、実際に「共にいる」ことはできなくても、そして、対面の交わりには及ばないとしても、確かに私たちを勇気づけます。：そのようなことを考えると、共にいる喜びとは、つながっている喜びとも言えるのかもしれない。

女性会を通しての個々のつながりは、その一人一人に励ましと喜びをもたらすと信じています。わたしたちは様々な手段でつながることができず。新役員の方々も労を取って発行してくださるこの「みちしるべ」もその一つで、互いを知り合い、つながり、励まし合うものとなっていくことと思えます。

この女性会のつながり＝集まりの中に、主が共にいてくださり、互いのつながりを保ち、活動を祝福してくださるようにと祈るものです。



第21期役員を紹介～共にいる喜び～

会長 榎津直江 (博多教会)



21期の役員、榎津直江です。コロナ感染のために、教会に集い会員の方々と礼拝を守ることができない日常でない状況が続いています。その中で『共にいる喜び(21期主題)』を実感できる群れとなるように、情報を発信し、活動を計画・実行していこうと思います。まずは、会報「みちしるべ」「役員会報告」などでご自分の教会、九州各教会の女性会の方々とつながりや主にある喜びを感じていただけたらと願っています。

副会長・書記 深町敦美 (箱崎教会)



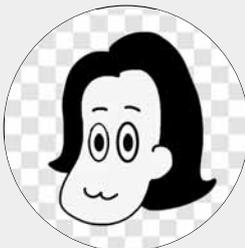
私にできるのかしら？と迷っていると「荻野さんと2人ならどう？」の言葉に「だったらできるかも!？」と引き受けてしまいました。折角やるなら楽しく！皆さんと心をあわせてひとつひとつに心をこめていきたいです。

会計 荻野千恵 (箱崎教会)



ルーテル教会を未来へつないでいく一員として、会計の職を担当しています。微力ですが、皆さまのお役に立てるように努めます。離れていても、お互いを感じ合い、祈り合いながら、21期を過ごしていきたいと思っています。

文書 小林涼子 (八幡教会)



「うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。(ヨシュア記1:9)」。本の葉に書かれたこの言葉が今の私の支えになっています。聖句との出会い方は様々ですね。

連盟担当 廣瀬美由紀 (長崎教会)



中学、高校、学童保育で働いてきて、4月からはキリスト教主義の保育園に勤務。働きながらでもできる女性会活動は？女性・男性という性による区別は必要？疑問や意見を出し合うこと、話し合うことを大切にしたい。

第21回教区女性会定期総会開催

2月27日(土)、熊本市の神水教会にて第21回九州教区女性会定期総会が開催されました。各地に緊急事態宣言が発令される中、例年より少数となる26名の出席者が集い、ソーシャルディスタンスを意識しての開催となりました。

着々と準備された教区秋の集いなど、多くの活動がコロナ流行のため中止となる中で、役員6人ができることをしていこうと協力して取り組んでこられたことが、報告から伝わってきました。

また、角本牧師先生が開会礼拝で「あなたがたは地の塩である。」(マタイ福音書5章13節)の、み言葉を出席した私たちに解き明かしてくださいました。一人ひとりが自分にも「地の塩」が与えられていると信じ、歩んでいくことを自覚させられました。



YouTube 配信

第25回連盟総・大会 講演会

講演 「人生100年時代…未知の時代の到来」 潮谷義子氏



3年に一度の総・大会。今年は中止と決まり、開催地・熊本は3月から連盟講演会開催への動きが始まりました。

警戒レベルが変動するなか、「手探り」しながらの準備でしたが、講師・潮谷義子氏のご理解を得、ライブ配信が叶い、礼拝と講演を全国の皆様にお届けすることができました。九州の皆様には開催が決まった2018年秋からお祈りとともにお支えくださり、ありがとうございました。

届けられたメッセージが、各地で拡がり、豊かな縁が結ばれていきますよう祈ります。(実行委員長 平山美保)



女性会の新たなチャレンジ！

連盟総・大会の中止が発表され、がっくりきていたところに、講演は熊本で予定通り実施というニュースが…。

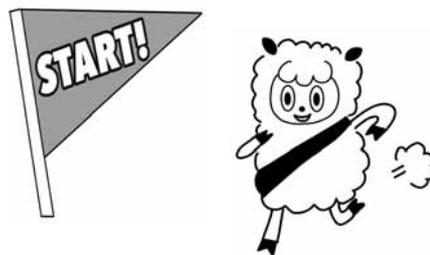
6月9日にライブ配信され、その後も視聴可能になり、6月20日には既に860回以上視聴されています。音声も聴きやすく、何度でも見直せて、より深く浸透します。講演は力強く、励ましと慰めに満ちたものでした。様々な社会問題に対する講師の関心や意識の高さにハッとさせられました。後に続く私たちもぼんやりしてはいられません！

実行委員長をはじめ熊本の皆さまには感謝しかありません。ありがとうございました。

(廣瀬美由紀)

こひつじりー

(活動目標3 会報みちしるべによる交流)



いと小さき群より

門司教会 森田 朋子



宣教百年の門司教会は多くの堅信者を世に送り、その中には召命を受け牧者としての道を歩まれている方もおられますが、現在は兼牧となり、土曜日の午前十時半より八幡教会の岩切雄太牧師によって数名の会員で礼拝は守られています。

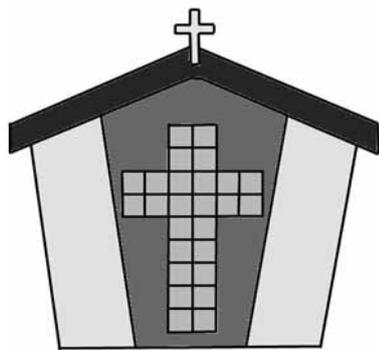
以前「九州教区婦人会」と言われていた頃は、積極的に活動を共にしていましたが、残念ながら「女性会」は休会中です。しかし北九州地区（八幡、

小倉、直方、門司）の婦人会には当番を外して頂いて引き続き参加しています。地区の集まりでは共に礼拝を守り日々の糧を頂き、当番教会が作成して下さったクリスマスカードにご高齢で礼拝出席が難しくなられた方や施設に入られた方、又お世話になった牧師夫人に全員でサインやコメントを寄せてお送りしたり、障がい者施設を訪問したり、単一教会婦人会では出来ない親睦や活動に参加させて頂いています。

幸い敷地内には門司教会に託された福祉事業「光の子会」の光の子学園、放課後等デイサービスひかりのこ、たまち光舎等の施設があり、利用者や職員の出入りで寂しさは感じられませんが、しかし歴史ある門司幼稚園は休園中ですし、肝心の母体であるべき教会そのものの活動が門司港地区の生産業の衰退、少子化等の影響で急速に衰えたことも一理ありますが、これまで何も手を尽くすことが出来なかつた私共教会員の未熟さ信仰の足りなさをつく

づく感じさせられています。

九州教区内でも門司と同じように兼牧になられ、もつと少数の会員で礼拝を守られている教会もあると思います。女性会の会報「みちしるべ」が次に小城教会にスポットライトを当てて下さいました。少数だからこそ届けられる福音の喜び、取り組んでいる課題等お話しただければ幸いです。小城教会の皆様の上に神様からの特別な祝福がありますように。



門司教会のイラスト
週報の表紙に使われています。

九州教区内の教会をつないでいく
教会紹介のコーナーです。
次回は小城教会にタスキを渡します。

春のティーンズキャンプ リモートでやんす



リモートによる初の「春キャン」。どのような開催となるか、不安だったのはキャンパーはもちろんですが、スタッフだったかもしれません。毎年私も関わらせていただきましたが、今回はパソコンの横で我が子の参加の手助けをしました。そこであらためて普段聞くことのできない若者たちの聖書のメッセージや証し、子どもたちの議論に耳をそばだてていました。同じように感銘を受けた親御さんも多かったのではないのでしょうか。他の参加者の声に、「これで顔と名前、そして声を覚えた。今度はリアルに会える楽しみができた」と、待ち望むコメントがありました。この時を覚え、祈りを合わせてくださった方々に感謝しつつ、新たな導きのもと、次なる開催も期待しています。

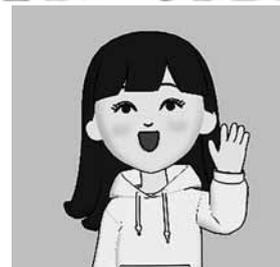
(九州教区教育部長 和田憲明)

8時間のリモートキャンプは、座りっぱなし・・・お尻が痛くなりました (>_<)



「初めての春キャンがリモート…」

箱崎教会 荻野 葉菜(高1)



私は今回初めて春キャンに参加しました。テーマ聖句が私のよく知る聖書箇所だったのでどんなキャンプなのか楽しみでした。また、1日中一つの聖書箇所について考えることは初めてだったので新鮮でした。キャンプ中よく聞いた言葉は「つながり」です。コロナの影響で集まって行くことはできませんでしたが、ZOOMを通しての「つながり」や、神様と私たちの「つながり」など今まであまり深く考えてなかったことを話し合いました。このつながりは、目に見えないけどとても大切なものだと感じました。また、コロナを一言で表すならと考えると、悔しいやつらいなどネガティブなものもありましたが、変化やチャレンジなど前向きなものもありました。私自身コロナの影響で最後の体育祭などが中止になり悔しい思いもしましたが、今思えばこれから先も思い出に残る一年だったと感じます。今回参加して、一日という短い時間だったけど楽しかったので来年も参加したいと思います。

平和ってどんなこと?

(活動目標4 平和の問題に目を向けよう)

危うい日本の平和

宮崎教会
新城 歌子



平和と言うと、まず戦争のない世の中ということが思い浮かぶ。戦争体験者としては、どうしても先の戦争の苦い戦争体験を思い出す。もう70年以上も経っているのに鮮明に思い出すこともある。戦争が終わり、灯火管制がなくなると明かりが戻り、街全体が明るくなった。これが平和だと思った。平和のありがたさが身にしみた。



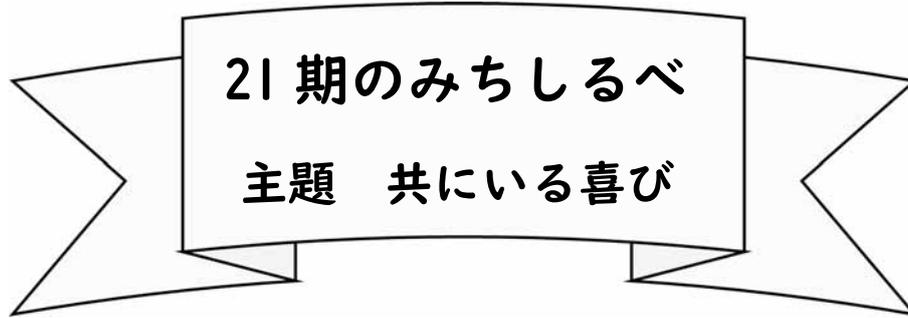
平和とは戦争がなくて、国民の基本的な人権が保障されている状態と考えていた。しかし、平和とは、戦争のみならず、飢餓、貧困、自然破壊、人権抑圧などの「構造的暴力」もない状態を「平和」と考えることが定説となつていることを最近知つた。

日本国憲法も発布され、日本はこれから国際平和を願って、もう戦争はしない、もう軍隊も持たない、という9条の条項が憲法に明記された。そして国民から大歓迎を受けた。生活は楽でなかったけれど、私

たちはその後、新しい理念で教育を受け、平和な学校生活を送ることができた。

そんな中、昭和25年(1950年)に朝鮮動乱が勃発した。連合軍はせっかく憲法に明記した軍備非保持、不戦を誓った日本に再軍備を要求するようになり、日本政府も米国の要求に応じて徐々に軍備を備え、現在では世界第4位の軍事費を有する軍事大国になった。

さらに、日本は崇高な日本国憲法の精神を曲げて、憲法に反する法律を準備し、戦争ができる国へと法体制を整えてきている。現に幾つかの外国の軍隊と合同演習も行っている。日本の最高法規である日本国憲法の上に外国との軍事同盟を置き、憲法の土台が崩れてきている。私が「危うい日本の平和」とは何時でも戦争ができる国になっている。そのことを憂いているのである。



集まることが難しい今だから

21期のみちしるべは主題聖句である「共にいる喜び」の実践として、会員の交流の場となる参加型の紙面を作っていきたいと、今期の活動目標に沿った以下のシリーズを企画しました。

いずれも投稿大歓迎！ おうち時間が増える中、ご自身の体験、思いを後世に伝えてみませんか？

●「十五歳！」(活動目標1 信仰の継承 若い人々と共に学ぶ)

「10代の頃の信仰生活の思い出」、「今の10代に向けてのメッセージ」、「現役10代が感じるキリスト教への疑問」などなど「10代」を切り口とした信仰のあれこれを自由にお寄せください。

●「私の讃美歌、私の聖句」(活動目標2 高齢の会員と共に恵みを分かち合う)

「受洗の時」、「結婚式で」、「ある日の礼拝で」・・・みなさんの大切にしている讃美歌・聖句について、そのエピソードをお聞かせください。世代は問いません！

●「こひつじリレー」(活動目標3 会報みちしるべによる交流)

九州教区内の教会をリレー形式でつなげる教会紹介です。少人数だけど頑張っている教会の方々の立候補、お待ちしております！

●「平和ってどんなこと？」(活動目標4 平和の問題に目を向けよう)

「世界の平和」、「自身の心の平和」、「キリスト教と平和」、「平和に向けた活動」・・・みなさんの思う「平和」をみちしるべで問いかけてみませんか？



いずれのシリーズも400～800字程度。投稿に関するご相談やご質問もお気軽にお問い合わせください。シリーズ以外にもご意見、感想、お叱りのお手紙など、なんでもお寄せください。みなさんからのメッセージが21期役員の励みとなり、力となります。

【宛て先】

〒805-0021

北九州市八幡東区石坪町2-3 日本福音ルーテル八幡教会 みちしるべ係

e-mail アドレス : michishirube21kyushu-letters @ yahoo. co. jp

みんなで作る「みちしるべ」にぜひご協力ください！

ご召天



岡本 顕さん	93歳	水俣教会	2020年5月20日
中尾カツエさん	93歳	室園教会	2021年1月6日
緒方 恵子さん	88歳	箱崎教会	2021年1月17日
西村トシ子さん	93歳	熊本教会	2021年2月19日
瓜生 桂子さん	89歳	久留米教会	2021年3月6日
吉良 清子さん	97歳	大江教会	2021年4月18日
梅北美智子さん	77歳	鹿児島教会	2021年5月5日
谷口美都江さん	98歳	大江教会	2021年5月29日

神様の御許で安らかに憩われますよう
お祈りいたします。

活動報告

- 2月 27日 (土) 第 21 回教区女性会総会 (神水教会)
- 3月 20日 (土) 第1回役員会 (リモート)
- 4月 25日 (日) 第2回役員会 (リモート)
- 6月 9日 (水) 第 25 回女性会連盟総・大会
大会講演 (健軍教会・YouTube 配信)
- 6月 19日 (土) 第3回役員会 (リモート)

会計監査決定

第21期会計監査二名が決まりました。
安藤濤江さん (小倉教会)
杉原正子さん (二日市教会)

お引き受けくださりありがとうございます。
ぜひぜひよろしく願っています。

お知らせ

教区女性会 会長会

日時：9月25日(土)
13:00 ~ 15:30

会場：博多教会
福岡市博多区須崎町 3-9

- 内容
- ◆21期の活動について
 - ◆連盟講演会報告
 - ◆参加者による情報・意見交換、分かち合い
- 昨今の状況を考慮し、時間を短縮して開催いたします。

編集後記

★みちしるべ109号をお届けします。遠くに光は見えて
いるけれど、いつ辿り着けるのかまだ誰にもわからない、
そんなコロナ禍での21期のスタートです。
★こうした中で発行する「みちしるべ」に求められるもの
は何かと考え、会員の皆さんの小さな声を拾うこと、でき
るだけ多くの方に「みちしるべ」に参加してもらうことを
方針としました。
★まずはその第一歩として、5面は荻野千恵さん、葉菜さ
ん母娘にレイアウト編集をお願いし、紙面作りに参加して
いただいています。
★「伝えたいことはあるけれど…」、その思い、形にでき
るようお手伝いいたします。まずは、みちしるべ係まで。